

十二人の兄弟

Die zwölf Brüder

十二人の男の子をもっていた王さまは、今度女の子が生まれたら、その子のために十二人の男の子を殺す、とお妃に言いました。果たして、生まれたのは女の子でした。お妃は、十二人の男の子を森に逃がします。

女の子は成長して、美しいお姫さまになりました。

ある日、自分に十二人の兄弟があることを知りました。森の中で、運良く十二人の兄弟と出会うことができました。しかし、兄弟のために白い花を摘み取ったために、十二人の兄弟は魔法でカラスになってしまいました。

兄弟をもとにもどすために、お姫さまは、七年間一言もしゃべらない約束をします。

お姫さまが、約束を守りとおしたので、十二人の兄弟はもとの王子にもどることができ、仲良く暮らしました。

